

平成29年度埼玉県スポーツ少年団 第36回ミニバスケットボール交流大会 〔県民総合体育大会〕

1. 期 日 【1日目】平成29年7月1日（土）
【2日目】平成29年7月2日（日）
2. 会 場 【1日目】越谷市立総合体育館
【2日目】越谷市立総合体育館
3. 出場チーム：埼玉県スポーツ少年団登録団から男女各12チーム

地 区		出 場 チ ー ム	
		〈男 子〉	〈女 子〉
中部	1	大宮ブルースカイミニバスクラブ	木崎ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団
	2	大砂土ミニバスケットボールクラブ	大宮中川ミニバスケットボール
	3	宮原ミニバスケットボールクラブ	春野ミニバスケットボールスポーツ少年団
	4	西原ミニバスケットボールクラブ	沼影ミニバスケットボールクラブ
東部	1	久喜ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団	宮本シャインズスポーツ少年団
	2	八幡小ミニバスケットボールスポーツ少年団八幡ドリーム	幸松ミニバスケットボールスポーツ少年団
西部	1	坂戸ロケッツ	北秋津イーグルス
	2	リベルタ	F.F.ファイヤーズスポーツ少年団
南部	1	戸田ミニバスケットボールスポーツ少年団	川口じりんMBC女子スポーツ少年団
	2	宗岡ミニバスケットボールスポーツ少年団	鳩ヶ谷桜スポーツ少年団
北部	1	東松山西ミニバス	吹上ミニバスケットボールクラブ
	2	下忍ミニバスケットボールクラブ	桶川北ミニバスケットボールスポーツ少年団

4. 競技方法 [1日目] 男女各3チームによるリーグ戦（各4ブロック）
[2日目] 男女順位別決勝トーナメント戦（各3グループ）
5. 競技規則
 - ・日本バスケットボール協会ミニバスケットボール規則に準ずる。
 - ただし、同点の場合は3分間の延長を行う。それでも同点の場合は再延長を行う。
 - 再延長は、2点先取もしくは3分終了時1点大なるチームを勝者とする。
 - ・日本バスケットボール協会マンツーマンディフェンスの基準規則に準ずる。
6. 参加分担金 5,000円
7. 携行品 スポーツ少年団旗・プラカード
8. 表彰
 - ・出場全チームに賞状・トロフィー・記念品を授与する。
 - ・1位グループの優勝、準優勝、3位にメダルを授与する。
9. 日 程

<p>[1日目]</p> <p>7：30- 役員集合</p> <p>8：30- 開場（参加チーム）</p> <p>9：00- 入場行進</p> <p>9：10- 開会式</p> <p>10：10 競技開始</p>	<p>[2日目]</p> <p>7：30- 役員集合</p> <p>8：30- 開場（参加チーム）</p> <p>9：10- 競技開始（アップ開始予定は8：45～）</p> <p>16：00 閉会式</p>
--	---

[1日目]

開会式次第

越谷市立総合体育館

《入場行進・開会式》平成29年7月1日(土) 9:00～ 司会(荻島Jr:高橋 なつみ・小澤沙弥)

- 1 選手入場行進 中部・東部・西部・南部・北部・前年度優勝チーム
- 2 開式のことば 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 部会長: 吉田弘一
- 3 主催者あいさつ 埼玉県スポーツ少年団 本部長: 佐藤 高弘
- 4 来賓の祝辞 越谷市副市長: 青山 雅彦 様
越谷市議会議長: 岡野 英美 様
越谷市教育委員会教育長: 吉田 茂 様
- 5 来賓紹介
- 6 優勝杯の返還 男子: F.Fファイヤーズスポーツ少年団 女子: リベルタ
- 7 団員綱領 中部地区 男子: 大宮ブルースカイ・大砂土 女子: 木崎・大宮中川
- 8 競技上の諸注意 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 副部会長: 佐藤 秀男
- 9 閉式のことば 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 副部会長: 安田 誠男
- 10 選手退場

* 整列方法は誘導係の指示に従ってください。

[2日目]

閉会式次第

越谷市立総合体育館

《閉会式》平成29年7月2日(日) 16:00(予定)～ 司会(荻島Jr:高橋 なつみ・小澤沙弥)

- 1 開式のことば 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 部会長: 吉田 弘一
- 2 成績発表 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 副部会長: 佐藤 秀男
- 3 表彰
- 4 閉式のことば 埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会 副部会長: 岡野 一平

* 整列方法は誘導係の指示に従ってください。

競技・運営上の注意

- 1 ゲームの運営を円滑に行うため、スコアシートの記入を第一試合前までに行ってください。
試合前には、コーチが必ず内容確認をしてください。（コーチ名記入を忘れずに）
 - 2 入場行進は、ユニホームをお願いします。
開会式の列は、プラカードが先頭、スポ少団旗、その後は番号順に1列に並んでください。
 - 3 敷地内、体育館内すべてコート以外のボールは使用禁止です。。
階段、ロビー等でのランニング及びボールを使ったアップは禁止です。
 - 4 第1体育室、第2体育室ともにボールかごの持ち込みは禁止です。所定の場所においてください。
 - 5 試合中、ベンチを立って指導できるのは、コーチ1人です。試合中は赤腕章を腕につけて指導をしてください。
（赤腕章はチーム指導をとるコーチを表しています）
 - 6 試合中、ベンチには選手15名、ヘッドコーチ、アシスタントコーチ2名、マネージャー1名の計19名以内が入ることができます。ベンチに入る指導者は部会発行の指導者資格のIDカードを首から掛けてください。
 - 7 試合終了時間が次試合の予定時間より10分以内の場合には、10分間のインターバルを取ります。
 - 8 リーグ戦における同率の場合の順位決定について（以下の順で決定する）
 - ①該当チームによる得点率（得点率=総得点／総失点）が大なるチームを上位とする。
 - ②該当チームによる総得点が大なるチームを上位とする。
 - ③までで決まらない場合は、該当チームによる抽選とする。
 - 9 TOの際は、必ず指導者が同行してください。
 - 10 ゴミは各チームが責任を持って持ち帰ってください。
 - 11 大きなケガをした場合は大会本部にお知らせください。（本部に先生が居られます）
 - 12 各チームの荷物は、座席に置いてください。
 - 13 会場の電源は使用しないでください。
 - 14 車はチームに指定された台数をお願いします。役員・審判も同様をお願いします。
 - 15 タバコは喫煙場所をお願いします。
 - 16 置き引きや盗難が多発しています。貴重品は身につけてください。また不審者を見かけたら大会本部に知らせてください。
 - 17 体育館には更衣室があります。ご利用ください。なお、チーム関係者が必ず同行してください。
- 〈真剣なゲームの中にも礼儀と友好を忘れず、最後まで気持ち良い大会となるようにご協力ください。〉

マナー等について

ミニバスケットボールの競技規則の【まえがき】に、「競技が友情、ほほえみ、フェアプレイの精神によっておこなわれること」とあります。

また「ゲームで勝敗を競うのは、子どもたちにとって非常に魅力的なものではありますが、何が何でも勝つという考え方を子供達に教えこんではいけない。そして、必要な厳格さと寛容さを併せ持ち、広い視野に立って規則を理解し、子供達が何を身につけるべきかを考えて欲しい。」とあります。

私たち指導者は、このことを肝に銘じ、子供達をよりよく成長させるために、ミニバスケットボールの指導を行わなければなりません。そこで以下に掲げるベンチマナーを徹底して下さい。これらのことは県大会以外の大会についても共通であることはもちろんです。

1. 監督・コーチのベンチのマナーについて

次のようなことを言うてはいけません。

- 審判（TOを含む）や相手に対して、不作法に話しかけたり、大きな声を出すこと。
- プレイに対して（ファウル！歩いた！）等の声を出したり、審判の判定に対して不作法に不服を言うこと。
- テーブルや椅子をたたいたり、蹴ったりすること。
- ゲーム中にコートの中に入ること。（選手の負傷等、特別な場合を除く）
- チームの責任者が、チームベンチを離れて指示を出すこと。
- むやみにベンチを立つこと。また、ベンチから離れること（選手も）。
- ベンチの内外を問わず、選手に対して暴力的な行為を行うこと。

このような行為に対して、審判は厳格に対処します。また、内容によっては、大会本部としても注意や警告のみに留まらず、出場停止等の重い処分をすることもあります。

2. 審判、TOへの支援について

ミニバスケットボールは、審判やテーブルオフィシャルズが未熟な場合があり、ゲーム中に判定や処置などにミスが起こることが考えられます。しかし、ベンチや観衆はそれを非難することなく、同じミニバスケットボールを育てる仲間として寛容に対処すべきだと考えます。しかし、審判やテーブルオフィシャルズは、その寛容に甘んじることなく、選手やベンチがその力を最大限に発揮できるよう、常に普段からの技術の向上に向けて努力すべきことは言うまでもありません。ご協力をお願いいたします。

3. 指導者の暴力行為について

ゲーム会場において、そのチームがゲーム中か否かを問わず、選手に対して指導者が暴力的な行為を行うことは厳に慎むべきことです。これは、単に、自チーム内においての問題ではなく、児童の人権擁護と健全な育成・指導の点から、ミニバスケットボール全体に対して、大きな誤解を招く恐れがあるからです。暴力的な行為が認められた場合、大会本部はそのチームに対して厳格な処置を行います。

4. 保護者等の応援について

ベンチ外の保護者の応援は、ミニバスケットボールの性格上、必要不可欠なものといえます。しかし、興奮のあまり、時に自チームの応援に留まらず、相手チームの中傷や審判の罵声が聞かれることもあります。このベンチ外の応援についてはルール上何ら規定はありませんが、ミニバスケットボールにおいては、児童との関わりにおいて、それを見逃すことはできません。また、チームの品位や、指導者の資質まで疑われることにもなります。このような点から、各チームの指導者はベンチの応援についても、十分な配慮をお願いいたします。